

連合会長 各位
地連会長 各位

公益財団法人 全日本弓道連盟
会長 加藤 出 (印略)

医・科学委員会
委員長 近藤 京子

令和 6 年度 夏季期間行事における熱中症対策について (お願い)

標記のこと、夏季期間における各連合会・地連内における行事開催時の熱中症対策について下記により医・科学委員会として注意喚起いたします。

つきましては、各連合会・地連および各支部において、熱中症対策について周知徹底を図っていただきますようお願い申し上げます。

記

近年、地球温暖化やヒートアイランド現象等の影響で夏の気温が 40 度近くにもなることがあり、屋外だけでなく室内での熱中症事例も多く報告されています。

弓道においては全館冷房（室内）の弓道場は稀で換気も厳しい道場も多く、以下の対策を推奨いたします。

【夏季対策】

- ・道場には熱中症指数計（WBGT 計）あるいは温湿度計を設置し気温や湿度の状況を把握する。
- ・扇風機、サーキュレーター等を使用し空気の流れを作る。
- ・水分補給、塩分補給のできるタイムスケジュールにする。
- ・開会式では、必ず参加者への注意喚起を行い、大会役員・運営委員への周知徹底を図る。
- ・審査委員、役員、運営委員の服装については、全弓連発第 5-23 号（令和 5 年 7 月 13 日付）を参考に考慮すること。
- ・観覧席および矢取り道で多くの観覧・見学者が予想される場合は、直射日光を避ける対策としてテントを設置し、日傘・帽子着用等の使用を勧める。
- ・射場近くは地面からの照り返し（輻射熱）にも注意すること。（人工芝、日除け等の設置）
- ・会場には、緊急時用の救護室（涼しい部屋）を確保し、救護担当の医療従事者を配置するか緊急時に対応できる体制を取る。
- ・行事開催前に近隣の救急病院へ連絡をとり緊急時の対応を依頼する。

以上

【参考】

令和 5 年 5 月～9 月 (消防庁調べ)
全国の熱中症による救急搬送人数
全体 : 91,467 人
内訳 : 高齢者 50,173 名
成人 30,910 名
その他 10,384 名

公益財団法人日本スポーツ協会「熱中症を防ごう」

<http://www.japan-sports.or.jp/medicine/heatstroke/tabid523.html>





全弓連発第 5-23 号
令和 5 年 7 月 13 日

連合会長 各位
地連会長 各位
中央委員 各位

公益財団法人 全日本弓道連盟
会 長 加 藤 出

夏季に実施する審査会における審査委員・運営役員の服装について（再送）

平素より本連盟の事業に対しまして、ご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

標題の件、昨年 7 月に全弓連発第 4-25 号にて通達しているところですが、新型コロナウイルス感染症へのマスク着用の判断にも変更がありましたので、改めて下記のとおりご連絡いたします。

なお、下記の服装は熱中症予防のためのものとなりますので、会場の冷房設備の有無や当日の気温に応じて適宜ご対応をお願いいたします。

記

- ・夏季における審査委員の服装はノーネクタイ・ノージャケットとし、半袖ワイシャツ（原則として白）を推奨する。女性はそれに準じた服装とする。
都道府県の運営役員も同様とする。
- ・担当場所（屋外等）により、帽子的着用やポロシャツ・Tシャツ等に適宜服装を変更すること。

以上

本件について
公益財団法人全日本弓道連盟
事務局：清水・高水
TEL：03 - 6447 - 2980
E-mail：kanrii3@kyudo.jp

表4・WBGT値と気温、相対湿度との関係

		相対湿度(%)																
		20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	100
気温(°C)(乾球温度)	40	29	30	31	32	33	34	35	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44
	39	28	29	30	31	32	33	34	35	35	36	37	38	39	40	41	42	43
	38	28	28	29	30	31	32	33	34	35	35	36	37	38	39	40	41	42
	37	27	28	29	29	30	31	32	33	34	35	35	36	37	38	39	40	41
	36	26	27	28	29	29	30	31	32	33	34	34	35	36	37	38	39	39
	35	25	26	27	28	29	29	30	31	32	33	33	34	35	36	37	38	38
	34	25	25	26	27	28	29	29	30	31	32	33	33	34	35	36	37	37
	33	24	25	25	26	27	28	28	29	30	31	32	32	33	34	35	35	36
	32	23	24	25	25	26	27	28	28	29	30	31	31	32	33	34	34	35
	31	22	23	24	24	25	26	27	27	28	29	30	30	31	32	33	33	34
	30	21	22	23	24	24	25	26	27	27	28	29	29	30	31	32	32	33
	29	21	21	22	23	24	24	25	26	26	27	28	29	29	30	31	31	32
	28	20	21	21	22	23	23	24	25	25	26	27	28	28	29	30	30	31
	27	19	20	21	21	22	23	23	24	25	25	26	27	27	28	29	29	30
	26	18	19	20	20	21	22	22	23	24	24	25	26	26	27	28	28	29
	25	18	18	19	20	20	21	22	22	23	23	24	25	25	26	27	27	28
	24	17	18	18	19	19	20	21	21	22	22	23	24	24	25	26	26	27
23	16	17	17	18	19	19	20	20	21	22	22	23	23	24	25	25	26	
22	15	16	17	17	18	18	19	19	20	21	21	22	22	23	24	24	25	
21	15	15	16	16	17	17	18	19	19	20	20	21	21	22	23	23	24	
WBGT値		注 意 25℃未満					警 戒 25℃～28℃			厳 重 警 戒 28℃～31℃				危 険 31℃以上				

(ここで、28℃～31℃は、28℃以上31℃未満の意味)

(日本生気象学会「日常生活における熱中症予防指針」Ver.1 2008.4 から)

※ 危険・厳重警戒などの分類は、日常生活上での基準であって、労働の場における熱中症予防の基準には当てはまらないことに注意が必要です。